

令和 6 年 2 月 1 5 日

ご門信徒 様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第 2 6 回 『定例法座 ためして仏教！！』ご報告

タイトル「～迷惑とは？」

サブタイトル「人に迷惑をかけずに生きていきたいから、老後は施設に入り、お葬式は行わず、お骨は散骨にしようと思っています。でも何か心に引っかかりを感じます。これで良いのでしょうか。」

日 時：令和 6 年 2 月 4 日〔日〕 13:30~15:00

場 所：光照寺 齊室

講 師：住職自勤

スケジュール：

1 3 : 3 0 お勤め お焼香

1 4 : 0 0 座談

1 4 : 3 0 座談を受けての法話

1 5 : 0 0 終了



お勤めの様子

法話

迷は、本当の道に迷うことを意味し、惑は途方にくれて戸惑うことを意味します。迷いとは捉え違い勘違いすることです。私の愛欲（煩惱への執着）と名利（名誉と利益）を求める心が私を迷わせているのでしょうか。

命はつながって関係してあります。つまり迷惑をかけたり、迷惑をかけられたりしながらお互いに協力し助け合いながら存在して、命をつないできたのでしょうか。だから人の手を借りることは、恥ずかしいことはありません。肝心なのは借り方ではな

いでしょうか。

私の肉体の命は亡くなっても、諸仏の願いや思いとして、次の命の中で生き、託しているのではないのでしょうか。精一杯迷いながら、迷っていることを、教えを通して自覚し生きていく。どんな状態の自分自身をも受け止めて生きていく姿を見せること、そのことを伝えていくことが大事だと思います。親として伝えるべきことはちゃんと伝えて、あとはこどもたち自身がどうするかだと思います。



法話の様子